

暮らしに根ざした阿武隈 150 年の山づくり

第 4 回 地域を見つめなおす



- 日時 2024 年 3 月 17 日（日）10 時 00 分～15 時 30 分（※雨天決行）
- 集合場所 ふくしま中央森林組合都路事業所 旧オガ工場
福島県田村市都路町古道字蒲生河原 26-1
- 参加費 無料（※保険代は主催者側で負担します）
- 内容 裏面参照
- 持ち物 動きやすい服装、汚れてもよい靴、軍手、タオル、昼食、雨具
- 定員 50 名（※先着順となります）
- 申込締切 2024 年 3 月 14 日（木）
- 主催 特定非営利活動法人あぶくま山の暮らし研究所
（Abukuma Sustainable Life Institute）
電話：0247-75-2055（事務局 荒井）
E-mail：contact@asli.fukushima.jp HP：http://asli.fukushima.jp/

あぶくま山の暮らし研究所は昨年 2 月に特定非営利活動法人として登録し、田村市都路町を拠点に活動しています。阿武隈に広がる広葉樹の山は、都路の暮らしを支え、先人が懸命に生きて証が刻まれています。私たちは、放射能汚染にも向き合いながら、豊かな山の恵みを子や孫に手渡せるように、山の暮らしを紡いでいくことを目標にしています。

「暮らしに根ざした阿武隈 150 年の山づくり」第 4 回のテーマは、「地域を見つめなおす」です。参加者のみなさんと都路を見つめなおし、地域の魅力を再発見する機会にしたいと思っています。

前半では、頭ノ巣地区で植林をして、この地区で活動する地域の方々とともに将来に残す景観づくりに汗を流します。

後半では、3 人の集落支援員さんの活動報告、および参加者との交流会を行います。過疎地である都路が、これからも住み続けられる地域であるように、集落支援員さんは、住民を訪ねて現状や課題を聞き、何が必要だろうかと話合ってきました。自身も住民です。昨夏から開始したこの取り組みを通して、見えてきたことや思い描くアイデアに耳を傾け、都路のこれからをみなさんと一緒に考えていきたいと思えます。

【当日のスケジュール】

<第一部>

- 10:00-10:10 開会・挨拶／青木一典（あぶくま山の暮らし研究所 理事長）
- 10:10-10:25 当法人の紹介
移動（送迎あり）
- 10:35-10:45 植える木（※※）と植え方の説明
- 10:45-11:45 木を植える（場所：都路町頭ノ巣地区）
移動（送迎あり）
- 11:55-12:55 昼食（各自持参）

<第二部>

- 13:00-14:00 集落支援員活動報告会
- 14:00-15:25 交流会・意見交換会
- 15:25-15:30 閉会・挨拶／久保優司（あぶくま山の暮らし研究所 副理事長）

※スケジュールは変更になる場合がございます。予めご了承ください。

※※コナラ、ヤマザクラ、イタヤカエデ、コブシ、イチヨウなどを植えます。

